

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 10 月 18 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (10/18 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	32.9	105.8 kPa abs	A系： 0.00 vol%
		給水系：約 2.7 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 4.2 m ³ /h	45.0	4.45 kPa g	A系： 0.07 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.07 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 4.5 m ³ /h	45.5	0.21 kPa g	A系： 0.20 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.19 vol%

*絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【1号機】・10/18 16:05 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 2.6m³/h から約 3.0m³/h に調整、炉心スプレイ系の注水量は約 2.0m³/h で継続中。

【2号機】・10/18 16:05 原子炉への注水量の低下が確認されたため、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.3m³/h から約 4.5m³/h に調整。給水系からの注水量は約 2.0m³/h で継続中。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (10/18 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	23.0
2号機	循環冷却システム	停止中	32.8
3号機	循環冷却システム	運転中	21.2
4号機	循環冷却システム	運転中	29

*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルへヒドラジンの注入を適宜実施。

【2号機】・10/15 6:07 使用済燃料プール代替冷却系において、弁追設および逆止弁点検、ドレン配管の設置作業を行うため、使用済燃料プールの冷却を停止。10/20 まで冷却停止予定。
なお、冷却停止時のプール水温度は約 23.0℃で、停止中のプール水温度上昇率については約 0.22℃/h と評価しており、停止中のプール水温上昇は約 28.9℃であることから、運転上の制限値 65℃に対して十分余裕があり、プール水温度管理上問題ない。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	10/16 10:14 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	10/15 18:05 ~ 移送実施中
4号機	4号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	10/15 11:55 ~ 移送実施中

・10/18 9:50 ~ 集中廃棄物処理施設において、サイトバンカ建屋からプロセス主建屋へたまり水の移送を開始。

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (10/18 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

以 上